

令和6年度 危険物取扱者試験 試験案内

消防法（昭和23年法律第186号）第13条の5第1項の規定により福島県知事から委任された危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

一般財団法人 消防試験研究センター福島県支部

試験案内を最後までよく読んで、記載されている内容に同意したうえでお申込みください。

申込みをされた方は、試験案内に記載されたすべての事項に同意されたものとみなさせていただきます。

受験願書の作成から合格後の免状交付申請手続きまでの流れ

試験概要を理解し、どの試験種類をいつ受験するか決める。

書面申請

受験願書は試験種類ごとに作成
(P 8～9の記入例を参照)

郵便局、ゆうちょ銀行の窓口で試験手数料を払込み (ATM 不可)、「振替払込受付証明書 (お客さま用)」を願書 B 面に貼付 (P 9 参照)

一般財団法人消防試験研究センター福島県支部 (以下「当支部」という) へ郵送又は持参 (P 7 参照)

試験日の約10日前に当支部から発送
(P 10 参照)

【試験日】

写真を貼付した受験票を持参 (P 10 参照)
試験日時や試験会場が変更となることがありますので、必ず受験票を確認してください。

【試験結果通知】

当支部から郵送します。ホームページには合格者の受験番号を掲示します。(P 11 参照)

【免状交付申請】

合格者は免状交付申請 当支部へ郵送又は持参してください。(P 12 参照)

【免状の交付】

交付申請書等受理日より、1ヶ月ほどで交付します。(P 12 参照)

電子申請

一般財団法人消防試験研究センター (以下「当センター」という) ホームページから電子申請のページへ (必要事項の入力)
<https://www.shoubo-shiken.or.jp>



【受験願書の作成】

【試験手数料の払込み】

クレジットカード決済、コンビニ決済等で試験手数料を払込み

【受験願書の提出】

受付完了メールの受信
(試験手数料の入金後に送信されます。)

【受験票の受領】

試験日の約10日前に「受験票印刷可能メール」を受信後、受験者がダウンロードし、印刷

以下の事項については、間違いや問合せ等が多くある事項を記載していますので、受験願書等の申請に当たっては、特に御留意ください。

願書の受付等について（P 3）

- 願書受付期間であっても会場の定員に達した場合等については、受付を締め切る場合があります。
- 書面申請は申請受理日以降、電子申請は申請の受付完了以降は、「試験日」、「試験の種類」等、申請した内容の変更及び取消しはできません。

受験願書について（P 8～9）

- 記入漏れ及び不足書類がある場合は受理できませんので、間違いのないように願書を作成してください。
- 受験願書への「振替払込請求書兼受領証」の貼付では受理できませんので、貼り間違いがないようにしてください。

試験手数料について（P 4～5）

- 令和6年5月1日の受験願書申請分から手数料の改定が見込まれますので、金額に間違いのないよう当センターのホームページ等で手数料の額を確認のうえ、払込みをしてください。
- 一旦払込みされた試験手数料は返却できません。

複数種類の受験について（P 6）

- 乙種第4類を除く乙種に限り、同一時間帯に2種類又は3種類の複数受験ができます。
- 複数受験の場合には試験の種類（2種類の場合は2枚、3種類の場合は3枚）毎に、それぞれ添付書類を付して受験願書を作成し、同一封筒で申請してください。

免状の交付について（P 12）

- 合格された方は、免状交付申請書の「氏名」、「生年月日」、「本籍」について、間違いがないか確認のうえ、免状の交付申請をしてください。

障害者差別解消法における合理的配慮の提供について（P 11）

- 障がい等により特別な配慮が必要な受験者は、受験申請前に当支部へ御連絡ください。

駐車場について

- 試験会場には駐車場がない会場があり、また、駐車場があっても台数に限りがありますので、公共交通機関の利用をお願いいたします。
- 迷惑駐車、違法駐車は絶対にしないでください。
- 駐車に係るトラブル等は一切責任を負いません。場合によっては、退場を求めることがあります。
- 施設の出入口近くに設けられた「車椅子マーク」のある駐車スペースは、車の乗り降りや歩行が困難な障がい者、高齢者等のために設けられた駐車場ですので、必要のない方は、おとめになりませんよう御理解、御協力をお願いいたします。
また、「おもいやり駐車場」が設置してある試験会場については、「おもいやり駐車場利用証」の交付を受けた方以外の駐車はできませんので御注意ください。

**** 試験案内等の入手方法 ****

- 「試験案内・受験願書・払込取扱票」は、当支部、各消防本部（署）、福島県消防保安課で配布しています。
- 受験願書の様式は全国共通です。
- 他都道府県で入手した受験願書もそのまま御利用いただけます。

令和6年度 危険物取扱者試験日程

※受験者数等により、「試験日」及び「受験地」を変更させていただく場合がありますので、試験日の約10日前に送付・送信される受験票で必ず確認してください。

※受付を願書受付期間であっても会場の定員に達した場合等については、受付を締め切る場合があります。その場合には、当支部のホームページにその旨を掲載します。

※地震、台風、大雪等により試験の実施について変更が予想される場合及び試験が中止又は延期等になる場合は最新の情報を当支部ホームページに掲載します。

区分	試験日	種類	受験地	受付期間	合格発表日
第1回	令和6年 5月11日(土)	甲種全類 乙種全類 丙種	会津若松市	書面申請： 令和6年3月12日(火)～3月22日(金) 電子申請： 令和6年3月9日(土)～3月19日(火)	令和6年 6月4日(火)頃
			白河市		
第2回	令和6年 5月24日(金)	甲種全類 乙種全類 丙種	広野町	書面申請： 令和6年3月25日(月)～4月5日(金) 電子申請： 令和6年3月22日(金)～4月5日(金)	令和6年 6月18日(火)頃
第3回	令和6年 5月25日(土)	甲種全類 乙種全類 丙種	福島市	電子申請のみ受付 令和6年3月22日(金)～4月5日(金)	
			いわき市		
	令和6年 5月25日(土)	乙種第4類	郡山市		

※第4回試験から書面申請及び電子申請の受付期間は同日となりますので御留意ください。受付期間前の受験申請はできません。

区分	試験日	種類	受験地	受付期間（書面申請・電子申請）	合格発表日
第4回	令和6年 7月20日(土)	甲種全類 乙種全類 丙種	南相馬市	令和6年5月13日(月)～5月23日(木)	令和6年 8月13日(火)頃
			喜多方市		
第5回	令和6年 7月26日(金)	甲種全類 乙種全類 丙種	広野町	令和6年5月27日(月)～6月6日(木)	令和6年 8月20日(火)頃
第6回	令和6年 7月27日(土)	甲種全類 乙種全類 丙種	福島市		
			郡山市 いわき市		
第7回	令和6年 8月24日(土)	甲種全類 乙種全類 丙種	会津若松市 白河市	令和6年6月17日(月)～6月27日(木)	令和6年 9月17日(火)頃
第8回	令和6年 9月14日(土)	甲種全類 乙種全類 丙種	南会津町	令和6年7月8日(月)～7月18日(木)	令和6年 10月8日(火)頃
第9回	令和6年 10月25日(金)	甲種全類 乙種全類 丙種	広野町	令和6年8月19日(月)～8月29日(木)	令和6年 11月19日(火)頃
第10回	令和6年 10月26日(土)	甲種全類 乙種全類 丙種	いわき市		
第11回	令和6年 12月14日(土)	甲種全類 乙種全類 丙種	福島市	令和6年10月7日(月)～10月17日(木)	令和7年 1月14日(火)頃
			郡山市		
			南相馬市		
第12回	令和7年 2月14日(金)	甲種全類 乙種全類 丙種	広野町	令和6年12月9日(月)～12月19日(木)	令和7年 3月11日(火)頃
第13回	令和7年 2月15日(土)	甲種全類 乙種全類 丙種	福島市		
			郡山市 いわき市		
第14回	令和7年 3月8日(土)	甲種全類 乙種全類 丙種	白河市	令和7年1月6日(月)～1月16日(木)	令和7年 4月1日(火)頃
第15回	令和7年 3月22日(土)	甲種全類 乙種全類 丙種	会津若松市	令和7年1月20日(月)～1月30日(木)	令和7年 4月15日(火)頃

1 試験の種類

甲種、乙種及び丙種危険物取扱者試験を、次に掲げる種別ごとに行います。

種別	取扱いのできる危険物	
甲種	全種類の危険物	
乙種	第1類	塩素酸塩類、過塩素酸塩類、無機過酸化物、亜塩素酸塩類等の酸化性固体
	第2類	硫化りん、赤りん、硫黄、鉄粉、金属粉、マグネシウム等の可燃性固体
	第3類	カリウム、ナトリウム、アルキルアルミニウム、黄りん等の自然発火性物質及び禁水性物質
	第4類	ガソリン、アルコール類、灯油、軽油、重油、動植物油類等の引火性液体
	第5類	有機過酸化物、硝酸エステル類、ニトロ化合物等の自己反応性物質
	第6類	過塩素酸、過酸化水素、硝酸等の酸化性液体
丙種	ガソリン、灯油、軽油等	

2 受験申請の方法

受験申請の方法は、書面申請（願書による申請）と電子申請（インターネットによる申請）の2通りとなります。具体的な受験手続きは、「9 書面申請の方法」（P7）及び「10 電子申請の方法」（P7）を御覧ください。

3 試験会場、集合時間及び試験開始時間

「試験会場」、「集合時間」及び「試験開始時間」については、受験票で確認してください。試験開始前に受験上の留意事項等を説明しますので、集合時間までに試験会場にお集まりください。

4 試験手数料

(1) 試験手数料の額（非課税）

甲種	乙種	丙種
6,600円	4,600円	3,700円

令和6年5月1日の申請分から手数料の改定が見込まれます。

令和5年12月6日に「地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部を改正する政令」（以下、「手数料政令」という。）が公布され、危険物取扱者試験の手数料の標準額が下表のとおり改定されました。

手数料政令は、令和6年5月1日から施行されることとなります。

【手数料政令改正後の手数料標準額】

甲種	乙種	丙種
7,200円	5,300円	4,200円

今後、手数料政令に基づき福島県において手数料条例が改正されますと、令和6年5月1日以後の申請については、危険物取扱者試験の試験手数料について、改定後の手数料の額を払込みしていただくこととなります。

その際には、当センターホームページ等で手数料の額を確認のうえ、払込みをしてください。

(2) 試験手数料の払込み方法

受験願書と一緒に受領した所定の「払込取扱票」の金額欄に受験する種類に応じた試験手数料を御記入のうえ、郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で払込み（ATM機では払い込まないでください。）をしてください。（払込取扱票の「振替払込受付証明書（お客さま用）」に日附印が押印されていない証明書の貼付では、受験願書を受理できません。）

なお、払込手数料は申請者の負担となります。

留意点

- 申請受付期間が5月1日以後の場合において、当該申請受付期間前に旧試験手数料を振り込み、申し込んだときには、新試験手数料との差額を追加納付していただくこととなります。
- 一旦払込みされた試験手数料は返却できません。
- 複数種類の受験の場合で試験手数料をそれぞれに払い込んだ場合は、それぞれの受験願書試験手数料欄に「振替払込受付証明書（お客さま用）」を貼り付けてください。
また、複数分の試験手数料を一括して払い込んだ場合は、試験種類の小さい方の受験願書（例：乙種第1類と第5類の場合は第1類）の所定の欄に「振替払込受付証明書（お客さま用）」を貼り付け、他の受験願書には受験願書試験手数料欄にその旨（例：手数料一括払込み、乙1類に貼付）をメモ書きしてください。
- 「振替払込受付証明書（お客さま用）」の貼付がない受験願書は受理できません。

- 紛失した場合は、再度払込みのうえ、新たな「振替払込受付証明書（お客さま用）」を受験願書に貼り付けてください。
 なお、再度払込みをした後で、紛失した「振替払込受付証明書（お客さま用）」を発見し提出した時は、当支部への還付申請により先に払い込まれた試験手数料について、振込手数料を差し引いて返却します。

5 甲種危険物取扱者試験（受験資格を証明する書類が必要です。）

(1) 試験科目、問題数及び試験時間（試験科目の免除はありません。）

試験科目	問題数	合計	試験時間
①危険物に関する法令（法令）	15問	45問	2時間30分
②物理学及び化学（物化）	10問		
③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	20問		

(2) 受験資格及び証明書類

対象者	大学等及び資格詳細	願書資格欄記入略称	証明書類
[1] 大学等において化学に関する学科等を卒業した方 (P13の別表1参照)	大学、短期大学、高等専門学校、専修学校 大学、短期大学、高等専門学校、高等学校の専攻科、中等教育学校の専攻科 防衛大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期台大学校、外国に所在する大学等	大学等卒	卒業証明書（原本）又は卒業証書（コピー） (学科等の名称が明記されているもの)
[2] 大学等において化学に関する授業科目を15単位以上修得した方 (P13～15の別表2参照)	大学、短期大学、高等専門学校（高等専門学校は専門科目に限る。）、大学院、専修学校 大学、短期大学、高等専門学校の専攻科 防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大学校、気象大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等	15単位	単位修得証明書（原本）又は成績証明書（原本） (修得単位が明記されているもの)
[3] 乙種危険物取扱者免状を有する方	乙種危険物取扱者免状の交付を受けた後、危険物製造所等における危険物取扱いの実務経験が2年以上の方	実務2年	乙種危険物取扱者免状（コピー）及び乙種危険物取扱者実務経験証明書（原本）(P9参照)
	次の4種類以上の乙種危険物取扱者免状の交付を受けている方（第3類と第5類は必須） ●第1類又は第6類 ●第2類又は第4類 ●第3類 ●第5類	4種類	乙種危険物取扱者免状（コピー）
[4] 修士・博士の学位を有する方 (P13の別表1参照)	修士、博士の学位を授与された方で、化学に関する事項を専攻した方 (外国の同学位も含む。)	学位	学位授与証明書（原本）、学位記（コピー）、修了証書（コピー）又は修了証明書（原本） ※学位を取得していること、かつ、化学に関する事項を専攻したことがわかるもの

注1) [1]の高等学校及び中等教育学校の専攻科については修業年限が2年以上のものに限ります。

注2) [1]、[2]の専修学校については、修業年限2年以上、総授業時数1,700時間以上の専門課程に限り認められ、証明書類として表の書類のほか次のいずれかの書面が必要になります。(ただし、表の証明書類に次の①又は②の内容が記載されている場合は次の①又は②の書面は不要です。)

- ① 専門士又は高度専門士の称号が付与されていることを証明する書面又はその写し
- ② 専修学校の専門課程の修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に要する総授業時数が1,700時間以上であることを証明する書面（P15の書式例1を参照してください。)

注3) [2]の大学、短期大学、高等専門学校、大学院等における修得単位は、卒業、在学中、中途退学又は通信教育等にかかわらず算定することができます。放送大学も同様に算定できます。

注4) [2]の「単位修得証明書」は、P15の書式例2を参照してください。

注5) [3]の「乙種危険物取扱実務経験証明書」は、事業所等の証明書です。受験願書のB面裏の様式を使用してください。

注6) 旧大学、旧専門学校、高等師範学校、実業学校教員養成所等の卒業者及び単位修得者、専門学校卒業程度検定試験合格者も受験資格を有する場合があります。詳細については、当支部にお問い合わせください。

注7) 大学等において化学に関する学科等及び授業科目の例示については、P13～15の別表1及び別表2を参照してください。

※受験資格を証明するための書類は、上表の「証明書類」欄を参照し、提出してください。

※過去に甲種危険物取扱者試験の受験申請をしたことのある方は、その時の受験票（控）又は試験結果通知書（資格判定コード欄に番号が印字されているものに限る。）を提出することにより受験資格の証明書に代えることができます。(コピー可)

※受験願書の氏名と各証明書の氏名が相違している場合は、戸籍抄本や裏書された運転免許証（写し）などを添付してください。

※「願書資格欄記入略称」は、受験願書の「甲種受験資格」欄に記入するものです。

6 乙種危険物取扱者試験（受験資格は必要ありません。）

(1) 試験科目、問題数及び試験時間

試験科目	問題数	合計	試験時間
①危険物に関する法令（法令）	15問	35問	2時間
②基礎的な物理学及び基礎的な化学（物化）	10問		
③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	10問		

(2) 試験科目の免除

免除資格者	免除類別	試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間
乙種危険物取扱者免状を有する方	全類	① 法令	全部免除	0問	10問	35分
		② 物化	全部免除	0問		
		③ 性消		10問		
火薬類免状を有する方	第1類 第5類	① 法令		15問	24問	1時間30分
		② 物化	一部免除	4問		
		③ 性消	一部免除	5問		
乙種危険物取扱者免状及び火薬類免状を有する方	第1類 第5類	① 法令	全部免除	0問	5問	35分
		② 物化	全部免除	0問		
		③ 性消	一部免除	5問		

免除を希望される方は、受験願書の科目免除欄に記入するとともに、該当する免状のコピーを貼付してください。

※火薬類免状とは、次の免状をいいます。

- 甲種、乙種及び丙種の火薬類製造保安責任者免状（火薬類取締法）
- 甲種及び乙種の火薬類取扱保安責任者免状（火薬類取締法）

7 丙種危険物取扱者試験（受験資格は必要ありません。）

(1) 試験科目、問題数及び試験時間

試験科目	問題数	合計	試験時間
①危険物に関する法令（法令）	10問	25問	1時間15分
②燃焼及び消火に関する基礎知識（燃消）	5問		
③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	10問		

(2) 試験科目の免除

免除資格者	試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間
5年以上消防団員として勤務し、かつ、消防組織法第51条第4項の消防学校の教育訓練のうち基礎教育又は専科教育の警防科を修了した方	① 法令		10問	20問	1時間
	② 燃消	全部免除	0問		
	③ 性消		10問		

免除を希望される方は、受験願書の科目免除欄に記入するとともに、次の2点の証明書類を貼付してください。

- 消防団員歴を証明する書類の原本（消防団長又は市町村長が証明するもの）
- 消防学校の教育修了証の写し（消防学校長が証明するもの）

8 複数種類の受験

(1) 複数受験の範囲

乙種第4類を除く乙種に限り、同一時間帯に2種類又は3種類の複数受験ができます。

(2) 複数受験ができる条件

願書受付期間までに、乙種危険物取扱者免状を有している方

(3) 願書の作成及び申請方法

試験の種類（2種類の場合は2枚、3種類の場合は3枚）毎に、それぞれ添付書類を付して受験願書を作成し、同一封筒で申請してください。

9 書面申請の方法

(1) 受験願書の作成

受験願書の作成は、「受験願書A面（1枚目）の記入例」（P 8）及び「受験願書B面（2枚目）の記入例」（P 9）を参照してください。

(2) 受理できるもの

次の条件をすべて満たしたもの

ア 受験願書の記載事項に記入漏れ及び不備がないこと

イ 必要な書類が添付されていること

ウ 願書受付期間内に提出されていること

※上記の条件を満たしていない受験願書は受理できません。

この場合、提出された受験願書は、本人から切手を貼付した封筒を当支部に送付していただき、これにより返却いたします。

(3) 受験願書の提出先

受験願書は、願書受付期間内に郵送又は持参してください。（できるだけ郵送での申請をお願いいたします。）

○ 郵送による場合

- **受付期間最終日の消印があるものまで有効です。**
- 受験願書が配達されているかどうかの問い合わせには応じることができません。
- 受験願書が当支部に配達されたか否かについて確認したい場合は、御自身で配達状況が確認できる「簡易書留郵便」又は「特定記録郵便」等を利用して郵送してください。
- 最後のページのラベルを御活用ください。

【本県で受験する方の提出先】

〒960-8043

福島県福島市中町4-20 エスケー中町ビル2階

一般財団法人 消防試験研究センター福島県支部

※持参による場合の受付時間は、9:00~17:00（土日祝日、年末年始を除く。）です。

（駐車場はありませんので御留意ください。）

10 電子申請の方法

電子申請については、当センターホームページで確認してください。

ホームページに利用方法やQ&Aが掲載されています。

【電子申請に関する問い合わせ先】

一般財団法人消防試験研究センター 電子申請室

専用電話（全国共通）0570-07-1000（有料）

受付時間 9:00~17:00（土日祝日、年末年始を除く。）

一般財団法人消防試験研究センターホームページ <https://www.shoubo-shiken.or.jp>

受験願書A面（1枚目）の記入例

注意事項

- ◎ 受験願書A面の「記入上の注意」をよく読んでから記入例にしたがって記入してください。
- ◎ 黒色のボールペンでかい書で正しく書いてください。
- ◎ 書き損じた場合は、横2本線を引いてそのすぐ上に正しく書いてください。
- ◎ 年月日を記入するすべての欄は、1桁の数字の場合、0を前に付けてください。
- ◎ 複数の試験を受ける方は、それぞれに受験願書を作成し、同一封筒で提出してください。

左つめで記入してください。外国籍の受験者は、住民基本台帳に記載されている漢字又はパスポートに記載されているアルファベット氏名を記入してください。

危険物取扱者試験受験願書(全国共通)

左つめで記入してください。カナ氏名の濁点・半濁点は1マスを使用してください。

郵便番号は、正確に記入し、住所は現に居住している所を都道府県名から記入してください。濁点・半濁点が入る場合は、1マスに入れてください。マンション等の名称まで詳しく記入してください。

試験日を記入してください。

受験する試験の種類に○を付けてください。乙種の受験者は、受験する危険物の類を記入してください。

甲種受験者は受験案内P5【5】(2)の「願書資格欄記入略称」により記入し証明書類を貼付してください。

火薬類免状を有する方で「受ける」に○を付けた場合は、火薬類免状のコピーを貼付してください。

2種類以上の受験者は、受験する試験の種類ごとに受験願書を作成し、同一封筒で申請してください。

既得免状（既に交付を受けている免状）のある方は全て記入し免状のコピー（表面と裏面）を貼付してください。

左つめで記入してください。外国籍の受験者は、住民基本台帳に記載されている漢字又はパスポートに記載されているアルファベット氏名を記入してください。

住民票に記載されている氏名を正確に記入してください。

申請する日を記入してください。

本籍の都道府県名を記入してください。外国人の方は、「外国籍」と記入してください。

受験願書B面裏の「都道府県コード」を記入してください。

日中連絡がとれる番号を必ず記入（申請書類に不備があった場合の連絡に使用）

書類等に不備があった場合の連絡手段として、メールによる連絡を希望する方は、メールアドレスを記入してください。（携帯電話アドレス可）

3ヶ月以内に福島県以外の都道府県で申請又は受験した場合は記入してください。

主となるものに○をつけてください。

免状の写真下に記載されている番号を記入してください。

※印は、記入しないでください。
 ● 本用紙は、黒色のボールペンを使用し「かい書」で記入してください。
 ● 本用紙を汚したり、折り曲げたりしないでください。
 ● 枠は該当するものに○を記入してください。
 ● 免状番号は、免状写真下に記載されている番号です。

（記入上の注意）

※印は、記入しないでください。
 ● 本用紙は、黒色のボールペンを使用し「かい書」で記入してください。
 ● 本用紙を汚したり、折り曲げたりしないでください。
 ● 枠は該当するものに○を記入してください。
 ● 免状番号は、免状写真下に記載されている番号です。

（A面）試験センター発行

※団体コード [] ※受付機関コード [] ※分類コード []

11 受験票及び写真について

受験票の内容をよく確認し、受験票に受験者氏名を記入し、写真を貼って試験当日持参してください。

受験票	書面申請	試験日の10日前までに受験票（圧着ハガキ）を発送します。 受験票が届かない場合又は受験票を紛失した場合は、試験日の3日前（土日祝日、年末年始を除く9：00～17：00）までに当支部へ御連絡ください。
	電子申請	試験日の10日前までに受験票をダウンロードできる旨のメールを送信します。受験票は、 当センターホームページの電子申請トップページからダウンロードし、印刷してください。 （受験票は郵送しません。）何らかの理由によりセンターからのメールが届かない場合でも、受験票のダウンロードは可能です。 受験票をダウンロードする際に入力する「電子申請受付番号」が不明な場合は、「電子申請状況確認」画面で確認してください。なお、それ以外のお問い合わせについては電子申請室まで御連絡ください。

- 受験票に記載されている試験日、集合時間、試験開始時間、試験会場等を必ず確認してください。
- 指定された試験開始時間の変更はできません。
- 氏名、住所等に誤り又は変更がある方は、試験当日、試験監督員から記載事項の修正用紙を受取り、正しい内容を記入し提出してください。
- 受験票（控）は、合格発表の確認に必要です。
また、甲種を再受験される方は、資格の証明に代えることができますので、大切に保管してください。

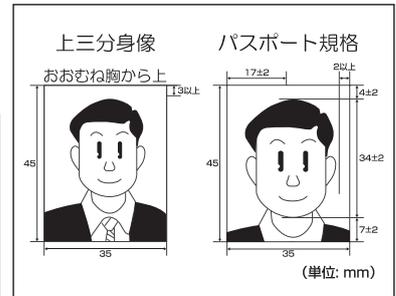
【受験票にのり付けする写真】

受験時の本人確認及び合格後の免状作成時に使用しますので、次の条件を満たす写真を反らないようにしっかりと受験票にのり付けてください。

また、不適切な写真の場合は、写真の再提出が必要となる場合があります。

【写真の条件】

- 大きさ 縦4.5cm×横3.5cm ● 受験日前6ヵ月以内に撮影したもの
- 無背景の上三分身像又はパスポート規格 ● 枠なし、鮮明なもの
- 正面、無帽（宗教上又は医療上の理由がある場合を除く。）
- デジタルカメラで撮影されたものは、写真専用紙で印刷した鮮明なもの
- 裏面に氏名、年齢及び撮影年月日を記入



【不適切写真】

- 表面にキズのある写真 ● イヤホン、サングラスやマスクを着用した写真 ● 写真のコピー ● 普通紙に印刷したもの
- 背景と頭髪の色が同系色の写真 ● メガネフレームやメガネレンズの照明により反射している写真
- 画像処理（加工修正）を施した写真 ● 頭髪が目にかかっている写真 等

【書面申請者用の受験票】

危険物取扱者試験 受験票(控)	
複数受験者座席番号(1234)	
受験番号	E1-0001 試験の種類 乙種第4類
カナ氏名	アンザイ タロウ
氏名	安齋 太郎
試験日時	〇〇年〇〇月〇〇日[L/2] 〇〇時〇〇分集合 〇〇時〇〇分試験開始
試験会場	〇〇市〇〇区〇〇町 1-1-1
(試験室)	第〇〇試験室
免除科目	免除科目なし 資格判定コード 01
既得免状	

注：記載内容を確認し、訂正欄がありましたら、ご連絡ください。受験票裏面の注意事項をよくお読みください。

受験の際は、試験会場をご確認ください。次の場合は受験することができません。

- 1 受験票がない場合
- 2 受験票に写真を貼っていない場合
- 3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合

この受験票(控)は、合格発表の確認と再受験の申し込みに必要ですので、大切に保管してください。

【電子申請者用の受験票】

危険物取扱者試験 受験票	
複数受験者座席番号(1234)	
受験番号	E1-0001 試験の種類 乙種第4類
カナ氏名	アンザイ タロウ
氏名	安齋 太郎
試験日時	〇〇年〇〇月〇〇日[L/2] 〇〇時〇〇分集合 〇〇時〇〇分試験開始
試験会場	〇〇市〇〇区〇〇町 1-1-1
(試験室)	第〇〇試験室
免除科目	免除科目なし 資格判定コード 01
既得免状	

注：記載内容を確認し、訂正欄がありましたら、ご連絡ください。受験票裏面の注意事項をよくお読みください。

受験の際は、試験会場をご確認ください。次の場合は受験することができません。

- 1 受験票がない場合
- 2 受験票に写真を貼っていない場合
- 3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合

この受験票(控)は、合格発表の確認と再受験の申し込みに必要ですので、大切に保管してください。

必ず写真をのり付けて持参してください。
なお、のりがはみ出さないように御注意ください。
※セロハンテープ使用不可

氏名を記入してください。

電子申請の方は、御自身でA4の用紙に印刷してください。印刷する際に拡大・縮小して印刷しないでください。

印字されている住所を確認してください。試験結果通知書は、記載されている住所に郵送されます。

12 合理的配慮の必要な方

- ・障がい等により特別な配慮が必要な受験者は、受験申請前に当支部へ御連絡ください。(試験会場によっては、対応についていたしかねる場合がありますので御了承ください。)
- ・事前に御連絡がない場合は、当日の対応についていたしかねる場合がありますので御了承ください。また、必要な配慮等を行うため、書類等の提出を求める場合がありますので御了承願います。

13 試験当日について

(1) 持ち物

- ア 受験票(縦4.5cm×横3.5cmの写真をのり付けしたもの)(複数受験者は類ごとに合計2枚又は3枚必要)
- イ 黒鉛筆又はシャープペンシル(いずれもHB又はB)(黒鉛筆又はシャープペンシル以外は使用禁止)
- ウ 消しゴム

(2) 試験会場と集合時間

受験票に記載されている試験日、集合時間、試験開始時間、試験会場等を必ず確認のうえ、集合時間までにお集まりください。

試験開始前に受験上の留意事項等を説明します。

(3) 試験の方法

種類	方法
甲種及び乙種	5肢択一式(マークシート方式)
丙種	4肢択一式(マークシート方式)

注意事項

- ・次の場合は受験できません。
 - ① 受験票がない場合
 - ② 受験票に写真が貼っていない又は本人と確認できない写真を貼った場合(試験会場には写真を撮影できる機械はありません。)
- ・試験会場及び集合時間を確認して来場してください。
- ・身分を証明する書類等の提示を求めることがありますので、試験当日は本人確認ができる写真付の証明書(運転免許証・学生証など)を持参してください。
- ・電卓、定規類は一切使用できません。
- ・試験時間の管理は、原則、試験会場に備え付けの時計で行います。(試験監督員等が指示する場合を除き、腕時計等の時計は必ずカバン等にしまってください。)
- ・携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等の端末機器の使用はできません。(端末機器は必ず電源を切りカバン等にしまってください。)
- ・問題集は試験終了後回収します。持ち帰った場合は失格とします。
- ・不正行為は失格とします。また、試験監督員等の指示に従わない場合は退場を命じ、失格とすることがあります。
- ・決められた場所以外での喫煙はできません。喫煙場所がない試験会場は禁煙となります。
- ・試験会場への電話による問い合わせはしないでください。

14 合格基準

甲種、乙種及び丙種危険物取扱者試験ともに、試験科目ごとの成績が、それぞれ60%以上であること。(試験科目の免除を受けた受験者については、その科目を除く。)

なお、乙種第1類又は第5類の受験者であって、火薬類免状により試験科目の一部が免除された方については、免除された以外の問題で上記の成績であること。

15 合格発表

合格発表日は、「令和6年度 危険物取扱者試験日程」(P3)に記載のとおりです。

合格者については、合格発表日の正午に当センターのホームページ上に受験番号を掲示します。

また、当支部入口の掲示板に合格者の受験番号を公示するとともに、受験者には圧着ハガキで合否の結果を郵送します。

なお、試験結果の合否に関する電話による問い合わせ、試験問題及びその解答に関する問い合わせには、一切応じられません。

16 試験合格後の免状交付申請について

試験に合格された方は、免状交付申請書に記載された提出期限日までに、次のものを当支部まで郵送又は持参してください。（できるだけ郵送での申請をお願いいたします。）

(1) 免状交付申請書及び結果通知書

- 記載事項に誤りがないか確認し、所要事項を記入してください。
- 印字された申請書の内容に誤りがあった方、電子申請で入力できなかった文字を訂正する方は、赤字で訂正してください。
- 免状交付申請書と試験結果通知書は切り離さないで提出してください。

(2) 交付手数料（非課税）

- 2,900円分の福島県収入証紙（収入印紙ではありません。）を申請書裏面に貼付してください。（種類ごとに必要です。）
- 福島県収入証紙の販売場所…県庁内売店、県合同庁舎内売店、警察署内交通安全協会（郡山警察署内は警友会）等。（詳しくは当支部のホームページ「証紙の入手先」から、リンク先の福島県ホームページ「福島県収入証紙売りさばき所一覧」を御覧ください。）

(3) 既得危険物取扱者免状

- 他の種類の免状をお持ちの方はすべての免状を提出してください。（業務上免状を携帯する義務のある方は、当支部まで御連絡ください。）
- 「氏名」、「本籍」（都道府県名）に変更のある方、免状を紛失された方は、それぞれ書換えあるいは再交付の手続きが必要ですので、当支部へ御連絡ください。
- 交付申請中に次の試験を予定している方は、受験願書に添付する免状のコピーを必ず用意してから交付申請をしてください。

(4) 新規免状送付用封筒（新たに交付される免状を申請者に送るための封筒）

- 当支部から「簡易書留」で新免状を送りますので、定形封筒（長形3号等）に簡易書留郵送料の切手を貼付し、表面に本人の住所（勤務先も可）、氏名を記入してください。
- 裏面の上部左隅に受験番号を記入してください。
- 複数種類の申請をする方も、封筒は1枚で結構です。
- 2名以上の申請で同一封筒を使う場合は、委任状が必要となりますので、事前に当支部へ御連絡ください。

(5) 交付予定日

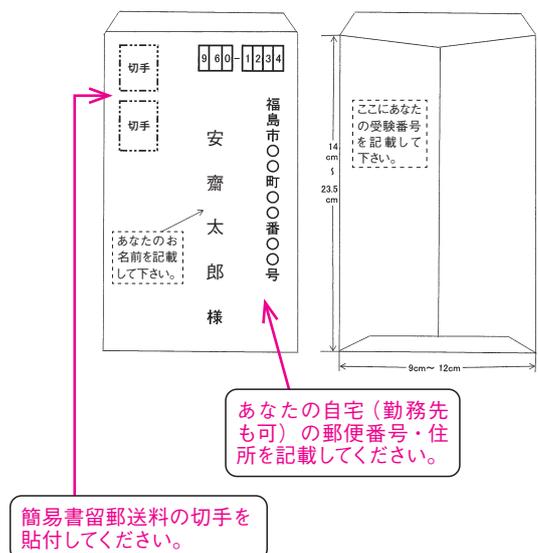
- 交付申請書等受理日より1ヵ月ほどで交付します。

【危険物取扱者試験結果通知書及び危険物取扱者免状交付申請書記入例】

危険物取扱者試験結果通知書		危険物取扱者免状交付申請書	
あなたの試験結果は下記のとおりでしたので通知します。			
氏名	〇〇〇〇	申請日	年 月 日
試験日	令和 年 月 日	申請者名	〇〇〇
試験の種類	丙種	電話番号 勤務先等	— —
受験番号	H1-〇〇〇〇〇〇〇〇	内線 ()	—
資格判定コード		自宅又は携帯電話	— —
合否区分	合格	住所	福島県〇〇〇市〇〇〇
結果公示日	令和 年 月 日	フリガナ	〇〇〇 〇〇〇
あなたの正答率		氏名	〇〇 〇〇 〇〇
試験科目 法令(1)		本籍	〇〇県
(備考) 成績内容		生年月日	〇〇/〇〇/〇〇
		試験日	令和 年 月 日
		試験の種類	丙種
		受験番号	H1-〇〇〇〇〇〇〇〇
		既得免状	
		※受付欄	
		※手数料欄	
		※裏面の手数料欄の説明を御確認ください。	
		※添付書類	
		注・他の都道府県知事に免状の交付申請をしている場合には、他の都道府県知事への申請状況も、当該他の都道府県名及び申請している免状の種類を記入すること。	
		・捺印の欄には記入しないこと。	
		・印字された申請書の内容に訂正がある場合（印字もれを含む）は、赤字で訂正を記入してください。	
令和 年 月 日			
(一財) 消防試験研究センター理事長			
福島県支部			
		(一財) 消防試験研究センター 福島県支部	

記載内容を確認後、申請者（合格者本人）が署名してください。

【新規免状送付用封筒作成例】



別表 1

化学に関する学科等の例

- 名称の一部に「化学」の字句が含まれる学科又は課程
(ただし明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 人類文化学科等)
- 次の表に示す学科又は課程等

化学に関する学科又は課程等の名称							
ア	安全工学科	コ	工業材料科	セ	製造薬学科	フ	物質生物科学科
イ	医療薬学科		厚生薬学科		生体機能応用工学科		物質生物工学科
エ	衛生薬学科		高分子学科		生体物質工学科		物質生命工学科
オ	応用原子核工学科		高分子工学科		生体分子工学科		物質生命システム工学科
	応用生物科学科		高分子材料工学科		生物応用工学科		物質分子科学科
	応用生物工学科	サ	材料開発工学科		生物機能工学科		物質分子学科
	応用生命科学科		材料科学科		生物工学科		物質理工学科
	応用生命工学科		材料科学工学科		生物資源科学科		プロセス工学科
	応用微生物工学科		材料加工学科		生物資源利用学科		分子工学科
カ	環境生命科学科		材料学科		生物生産科学科		分子システム工学科
	環境物質工学科		材料機能工学科		生物分子科学科		分子生物学科
	環境マテリアル学科		材料工学科		生物薬学科		分子生命科学科
キ	基礎理学科		材料物性学科		精密素材工学科		分子素材工学科
	機能高分子学科		材料物性工学科		精密物質学科	マ	マテリアル科学科
	機能高分子工学科		材料プロセス工学科		生命理学科		マテリアル工学科
	機能材料工学科	シ	色染工芸学科		製薬学科	ム	無機材料工学科
	機能物質科学科		資源工学科		繊維工学科	ヤ	冶金学科
	機能分子工学科		資源素材工学科		繊維高分子工学科		冶金工学科
	金属加工学科		システム量子工学科	ソ	総合薬学科		薬科学科
	金属学科		食品科学科		総合薬品科学科		薬学科
	金属工学科		食品学科		素材工学科		薬剤学科
	金属材料学科		食品工学科	ト	塗装科		薬品科学科
	金属材料工学科		食品工業科学科	ハ	醗酵工学科	ユ	有機材料工学科
ケ	原子工学科		食料科学科		醗酵生産学科	ヨ	窯業工学科
	原子力科		森林資源科学科	フ	物質科学科	リ	林産学科
	原子力工学科	セ	製剤学科		物質科学工学科		林産工学科
	原子炉工学科		製糸学科		物質工学科		

別表 2

化学の授業科目例

- 名称の一部に「化学」の字句が含まれる授業科目
(ただし明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 進化学等)
- 次の表に示す授業科目

化学の授業科目の名称							
ア	アモルファス物性工学	エ	エレクトロニクス材料工学	カ	化工熱力学	カ	官能基変換論
	安全管理学	オ	応化・プロセス工学		化工物理学	キ	機器分析
	安全工学	カ	回折結晶学		化工流体工学		機能高分子学
	安全防災工学		界面工学		化石エネルギー		機能性高分子材料学
イ	移動現象論		界面制御学		火薬学		機能性材料工学
	移動速度論		界面電子工学		ガラス工学		機能性触媒工学
	医薬品安全性学		界面物性		ガラス材料		機能性有機材料
	医薬分子設計学		科学史		ガラス状態論		機能セラミック論
	医用高分子機能学		核燃料工学		ガラス物性		凝固論及び結晶生成
エ	衛生工学		核燃料サイクル特論		環境汚染物質分析学		金相学
	衛生薬学		核融合概論		環境物質工学		金属学
	栄養学		核融合工学概論		感光物性論		金属加工学
	エレクトロセラミックス		化工熱工学		岩石学		金属工学

キ	金属材料学 金属材料工学 金属製錬学 金属組織学 金属の相変態 金属表面处理 金属物性	サ	材料解析 材料開発工学 材料科学 材料加工学 材料強度学 材料強度物性学 材料結晶学 材料工学 材料構造解析学 材料精製工学 材料精密工学 材料組織学 材料組織形成論 材料熱力学 材料反応学 材料物性学 材料物理学 材料プロセス設計 錯塩基及び酸化還元	セ	生体分子工学 生体分子反応 製鉄製鋼耐火物 生物機能開発学 生物機能工学 生物機能利用学 生物工学 生物資源科学 生物資源利用学 生物反応工学 生物物性学 生物分子科学 生物薬学 精密材料物性 精密素材工学 精密分離工学 精密有機合成特論 製薬学 生理活性物質学 精鍊漂白論 石油開発工学 石油生産工学 接合学 接着及び接着剤 接着学 セメント工学 セラミック科学 セラミック基盤材料 セラミック工学 セラミック材料学 セラミックス概論 セラミックス材料工学 セラミックス電子材料 セラミックプロセスング セルロース科学 繊維高分子工学 選鉱学 先端材料物性特論	テ	電解反応 電気材料学 電気電子材料科学 電気電子材料学 電極反応論 電子材料 電子物性 伝熱工学 同位体地球科学 毒劇物学 特殊機能セラミック 毒性学 毒物学 土壌学 塗装学 塗料工業科学 ニューセラミック学 燃焼学 燃焼工学 燃焼熱工学 燃焼物理科学 粘土工学 燃料工学 燃料工業 燃料燃焼潤滑論 燃料燃焼論 燃料分析学 農薬学 バイオテクノロジー バイオプロセス工学 培養工学 爆発工学 薄膜材料工学 醗酵学 醗酵工学 醗酵工業論 醗酵生産学 パルプ学 パルプ工学 半導体工学 半導体材料 半導体デバイス工学 反応工学 反応性物質材料 反応操作 反応速度論 非金属材料 非晶質科学 微生物遺伝学 微生物学 微生物機能学 微生物工学 非鉄材料学 非平衡論 表面・界面工学 表面工学	
ケ	計算溶液特論 結晶回折 結晶材料工学 結晶評価工学 原子エネルギー工学 原子核工学 原子力工学 原子炉材料学 原子炉燃料	シ	色彩工学 色染実験 システム安全工学 焼結固体反応論 焼成材料 醸造学 醸造工学 醸造工業概論 状態方程式特論 触媒工学 触媒設計 触媒反応工学 食品衛生学 食品栄養学 食品科学 食品工学 食品工業微生物学 食品分析学 植物分子生物学 人工結晶 人造繊維工学 新薬論	ソ	相平衡論 相変態論 素材工学 耐火物概論 耐熱材料特論 多結晶材料工学 単位操作 単位反応学 単結晶材料工学 蛋白質工学 超高温材料 調剤学 鉄鋼材料学 鉄鋼表面处理 鉄冶金 定性分析 定量分析 電解製錬工学	ト	ニ ネ	ノ ハ
ク	高温材料 高温反応工学 光学活性体合成論 高機能材料特論 高機能材料プロセス特論 工業火薬学 工業材料 工業排水処理 工業爆薬学 工業反応速度論 工業微生物 工業分析 格子欠陥 公衆衛生学 高重合反応 合成鉱物 抗生物質 厚生薬学 合成薬品製造学 構造用金属材料 酵素利用学 鋼中非金属介在物 鉱物学 高分子科学 高分子学 高分子工学 高分子合成 高分子構造 高分子固体構造論 高分子コロイド科学 高分子材料学 高分子反応 高分子物性論 固相変態論 固体反応 固体表面科学 固体物性論 固体平衡論 コロイド学	ス	水質学 製剤学 製剤工学 製紙科学 製紙学 製紙工学 製造薬学 生体機能工学 生体機能電気科学 生体機能利用学 生体工学 生体高分子学 生体触媒学 生体光反応学	タ	チ	テ	ヒ	
コ	細胞培養学	セ						

ヒ	表面分析 肥料学 フ	分子解析学 分子機能 分子機能設計学 分子構造論 分子シミュレーション特論 分子情報計測学 分子生物科学 分子生物学 分子設計論 分子素材工学 分子熱力学 分子微生物学 分子薬理学 粉体工学 分離科学 分離工学 分離システム工学 分離装置工学 粉粒体工学	ム	無機材質学 無機材料工学 無機電子制御反応 無機薬品製造学 免疫薬剤学 木材化学 木材成分学 木材糖化論 木質材料学 木質資源化学 木質資源工学	ユ	有機金属 有機構造解析 有機材料工学 有機材料工業論 有機材料設計 有機材料表面科学 有機材料物性 有機材料レオロジー 有機電解合成論 有機反応機構 有機反応論 有機分析学 有機薬品製造学 融体物有機材料電子物性
	複合材料機能学 腐食及び防食学 物質移動プロセス特論 物質科学 物質工学 物質構造解析論 物質構造論 物質生科学 物質生物工学概論 物質プロセス工学 物質分析法 物性科学 物性子測論 物性論 物体学 物理薬学 プラントエンジニアリング プロセス工学 プロセスシステム工学 プロセス制御工学 プロセスダイナミクス プロセス熱力学 分光分析 分散系物性学 分子遺伝学	ハ	メ	ヤ	ヨ	
	平衡論 平衡・反応論	モ	冶金学 冶金工学 冶金反応工学 薬科学 薬学 薬剤学 薬品学 薬品工業概論 薬品製造学 薬品製造工学 薬品分析学 薬物学 薬用植物学 薬理学 薬効学	リ	窯業工学 窯炉工学 粒子線結晶学 量子分光学 量子力学 林産学 林産工学 林産製造学 林産物製造学 臨床薬学 臨床薬理学	
	ホ	マ	ユ	レ		
	放射線計測学 放射線物性計測学 膜機能工学 マテリアル工学	ミ	有機機器分析 有機機能性材料			
	水処理工学 水処理実験 水の分子工学特論					

書式例 1 専修学校用受験資格証明書

○○第 号

甲種危険物取扱者試験受験資格証明書(専修学校用)

○○年 月 日 入学 ○○科○○コース
○○年 月 日 修了

氏名 ○○ ○○
年 月 日生

学校教育法第124条に定める専修学校として認可を受けた日及び文書番号 ○○年 月 日 号	
課程の名称	○○○○専門課程
修業年限	2年
課程の修了に必要な総授業時数	1700時間

上記のとおり証明する。
年 月 日
(専修学校の所在地)
○○専門学校 学校長 氏名 ○○ ○○印

注1) 証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

書式例 2 単位修得証明書

○○第 号

単位修得証明書

○○年 月 日 入学 ○○部 ○○科
○○年 月 日 修了

氏名 ○○ ○○
年 月 日生

化学に関する科目名	修得単位	化学に関する科目名	修得単位
有機化学	4	高分子化学	2
無機化学	4	分析化学	2
燃焼工学	3	反応速度論	2

上記のとおり証明する。
年 月 日
○○大学 学長 氏名 ○○ ○○印

注1) 証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

注2) 学長等が「化学に関する分野」と認めた授業科目は、原則としてそのまま単位として認めます。

※受験願書は、受験を希望する都道府県の支部等に郵送してください。

受験願書提出前に下記をチェックしてください。

☑	チェック項目
	試験日、受験願書受付期間、試験種類、受験地を確認しましたか。
	「振替払込受付証明書（お客さま用）」を貼りましたか。 郵便局の日附印を確認してください。（日附印がないものは無効です。）
	受験資格又は科目免除を受けるための、資格を証明する書類等を添付しましたか。（対象の方のみ）
	すでに危険物取扱者免状の交付を受けている方は、科目免除に関係なく免状のコピーを貼りましたか。

当支部へ郵送する際、宛名ラベルとしてなるべく使用してください。

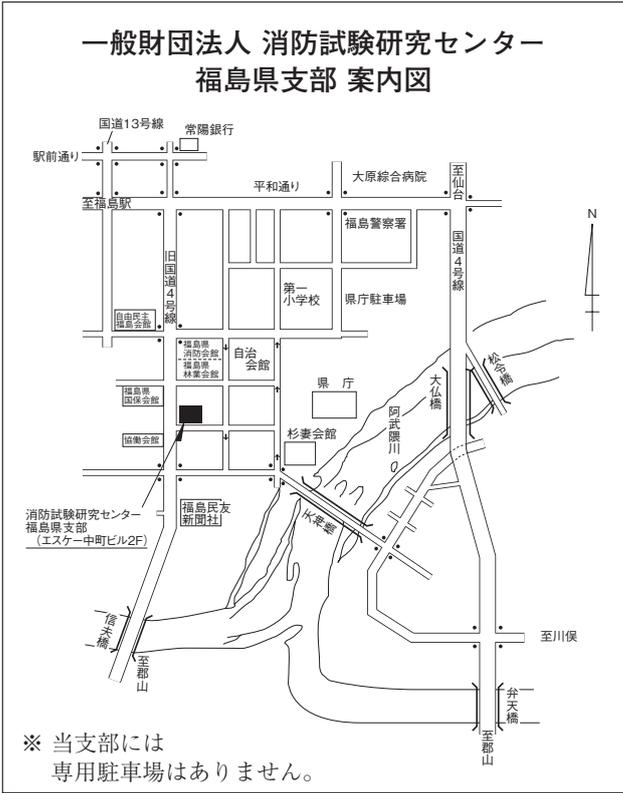
- 願書は折り曲げずに郵送してください。
- 郵便料金を確認して送付してください。
(不足している場合は受け取ることができません。)

〒960-8043
福島市中町4-20 エスケー中町ビル2階
(一財)消防試験研究センター福島県支部 宛

(令和 年 月 日試験分 受験願書在中)

【差出人】
 住所： _____

氏名： _____



個人情報の取り扱いについて

当センターは、危険物取扱者及び消防設備士試験の実施と免状作成業務を行っています。
 当センターは、試験及び免状事業の実施機関として個人情報を取り扱っていますので、個人情報の重要性を十分認識し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及びその他の関連する規範を遵守し、取得した個人情報は、正確、かつ、安全に取り扱います。

1 当センターの個人情報の内容と利用目的は次のとおりです。

- (1) 個人情報の内容
氏名、生年月日、本籍、住所、電話番号、勤務先名、学校名、職業、顔写真、メールアドレス等です。
- (2) 利用目的
利用は、本人確認、本人への通知・連絡、免状作成、免状交付状況に係る事項等のセンター業務の範囲内で行います。

2 当センターは、利用目的を達成するため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。その場合の業務委託処理は、個人情報を保護するための措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務機器等の安全対策を確実に実施しています。
 なお、個人情報の提供は、団体受験に関し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限定し、適切に取り扱います。

書面申請に関する問い合わせ先

一般財団法人 消防試験研究センター福島県支部
 〒960-8043 福島市中町4-20 エスケー中町ビル2階
 受付時間 9:00~17:00 (土日祝日、年末年始を除く。)
 電話 024-524-1474 FAX 024-524-1475

※当センターは試験実施機関であり、受験準備のための講習会や参考書等の出版は一切行っておりません。